

# 議会だより

No.72  
令和5年8月10日

# さわさわ



栃木県那珂川町

テーマ(ふれあい)  
Are You Ready? いざ出発。



## 主な内容

- 6月定例会の結果 (2P~3P)
- 6月臨時会の結果 (4P~6P)
- ここが聞きたい！ 一般質問(5人) (7P~11P)
- 議会・委員会のおこし (12P~15P)
- キラリ☆まちおこし・編集後記 (16P)

# 給付金・おむつ等購入 クーポンなどの物価高騰支援に 9,953万円を補正

令和5年第2回那珂川町議会定例会は、6月6日に開会し、会期を8日までの3日間と定め、一般質問のほか、条例の改正、令和5年度補正予算の審議などを行いました。

一般質問は5人の議員が行いました。

今期定例会には、報告3件、議案10件が上程され、全ての議案が可決されました。

- ・ 町長提案
  - 報告 3件：一般会計繰越明許費繰越計算書 など
  - 承認 2件：税条例の一部を改正する条例の専決処分 など
  - 議案 8件：人権擁護委員の推薦1件、条例の一部改正1件、補正予算1件、財産の取得1件、ケーブルテレビ施設光化整備工事など  
工事請負契約の締結2件、その他2件

補正予算

◆令和5年度一般会計補正予算  
(全員賛成 原案可決)

一般会計補正予算は、物価高騰対策に係る支援事業をはじめ、ガバメントクラウドの移行に向けた基幹系システムの標準化に係る事業費や、児童生徒のスクールバスへの置き去り防止の措置として安全装置を設置する事業費など、1億1300万円を増額補正するもので、令和5年度の一般会計の予算総額は86億9400万円となりました。

- ・ 基幹系システムの標準化支援に係る経費 387万円
- ・ 住民税非課税世帯への3万円給付に係る経費 5400万円
- ・ 子育て世帯への3万円給付に係る経費 4553万円
- ・ おむつ等購入クーポン発行事業に係る経費 484万円
- ・ スクールバスの安全装置設置に係る経費 306万円
- ・ 会計年度任用職員の雇用に係る経費 158万円
- ・ 寄付による図書館用図書の購入に係る経費 10万円

報告

◆株式会社まほろばおがわ経営状況

第3セクター「株まほろばおがわ」第22期(令和4年度)の営業・決算報告と、第23期(令和5年度)の事業・収支計画の報告がありました。

経営状況	第22期 (令和4年度) 決算	第23期 (令和5年度) 計画
入館者	86,000人	100,000人
売上	6,111万円	7,810万円
利益	432万円 (純損失)	54万円

**質問** 役員会の令和4年度の開催状況と今年度の開催予定は。  
**答弁** 令和4年度は5回開催。今年度は四半期毎の開催を予定。

**質問** 意見箱など利用者から出されている意見・要望の内容は。  
**答弁** 詳細は把握していない。設備等の修繕は適宜対応していく。

## 人事案件

### ◆人権擁護委員の推薦

(全員賛成 原案可決)

大金 美江氏(再任)

9月30日に任期満了となる大金美江氏(大内)を再任して、法務省に推薦することについて、議会の意見を求められ、異議なく賛同しました。

## 専決処分

### ◆条例例の一部を改正する条例の専決処分

(全員賛成 承認)

地方税統一QRコードに対応した納付書の新設及び、肉用牛売却に係る町民税の課税特例の適用期限を延長するとした、地方税法等の一部を改正する法律が令和5年3月31日に施行されたことにより、所要の改正がされたものです。

### ◆一般会計補正予算の専決処分

(全員賛成 承認)

65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する方を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種事業や、物価高騰により、家計が悪化している低所得の子育て世帯へ生活支援特別給付金を支給する事業に係る

経費について、速やかな事業実施のため、補正予算を編成して専決処分を行ったものです。

## 条例改正

### ◆条例例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

地方税法等の一部を改正する法律が令和5年3月31日に公布されたことに伴い、個人の町民税の納付や徴収に関して森林環境税が導入されたことから、条例の規定について必要な改正を行うものです。

## 財産の取得

### ◆財産の取得

(全員賛成 原案可決)

消防団の第1分団第2部(馬頭室町地区)及び第1分団第4部(馬頭田町地区)に配備されている消防ポンプ自動車について、新たに車両を購入し消防ポンプ自動車を更新するものです。

**質問** 古いポンプ車の取扱いは。

**答弁** 以前は外国へ譲渡したこともあるが、輸送費用等が町の負担となるため現在は廃車している。

## 契約

### ◆第1期那珂川ケーブルテレビ施設光化整備事業(整備工事)請負契約の締結

(賛成多数 原案可決)

ケーブルテレビ施設の老朽化や防災面での課題に対応するため、ケーブルテレビ網を既存の同軸ケーブルから、全線光ケーブルに切り替えるための整備工事について、一般競争入札により、日本電通株式会社と、9億7570万円の請負契約を締結するものです。工期は、令和6年3月25日。

**質問** 第1期における光化整備事業の概要は。

**答弁** 馬頭東部地区における路線、端末等の設備工事を実施予定。来年は、馬頭西部地区、3年目に小川地区の工事を予定。

**質問** 低入札価格調査制度による、今回の入札の調査基準価格は幾らか。また、この場合における最低制限価格は調査基準価格になると考えてよいか。

**答弁** 調査基準価格は8億8568万円で、最低入札価格は調査基準価格に同じ。

### ◆馬頭中学校校舎改修工事(B棟)第II期請負契約の締結

(全員賛成 原案可決)

馬頭中学校B棟の第II期の改修工事について、一般競争入札により、鈴木建設株式会社と、8965万円の請負契約を締結するものです。工期は、令和5年12月8日。

令和4年度の繰越事業として実施するものです。

**質問** 低入札価格の基本調査において、6社のうち2社を失格としているが、どのような基準により判断されたのか。

**答弁** 事務処理要領により、直接工事費や共通仮設費などについて項目ごとに定められた率から得た額をもとに適合性を判断している。

**質問** 低入札価格調査制度を取り入れるにあたりどのような準備をしたか。もっと早く導入できなかったのか。

**答弁** 低入札価格調査制度については、ダンピング対策として実施するもので国・県に準じて町の要請を改正した。国からの要請を踏まえ、導入にあたっての体制を整えたうえで活用した。

# 馬頭高等学校の存続を

## 求める要望書を議員発議で提出

### 大雨被害(6月14日)の災害復旧事業費 1億2500万円の補正予算を可決

令和5年第3回那珂川町議会臨時会は、6月22日に開会し、会期を1日間と定め、議員発議により「栃木県立馬頭高等学校の存続を求める要望書の提出について」を提出し可決しました。

また、追加日程として、6月14日に町内を襲った大雨による被害について、災害復旧費を計上した「令和5年那珂川町一般会計補正予算(第3号)」が緊急で上程され、原案のとおり可決しました。

発議

#### ◆栃木県立馬頭高等学校の存続を 求める要望書の提出 (全員賛成 原案可決)

馬頭高校の存続を求める要望書を県教育委員会へ提出するため、大金清議員を提出者、議長と提出者を除く議員全員を賛成者とした要望書を議員発議により提出し、可決したものです。

馬頭高校は、栃木県が策定した「第二期県立高等学校再編計画」において、小規模特例校に位置づけられており、次期計画では、急激な少子化による統合をはじめとした再編の対象になることも懸念されることから、議会としても馬頭高校存続のための対応を全員協議会などで協議し、第三期の計画案が示される前に、要望書を提出することとしました。

提案者 大金 清  
賛成者 小川洋一 川上要一  
大金市美 益子明美  
鈴木 繁 小川正典  
川俣義雅 福田浩二  
高野 泉 矢後紀夫  
神場圭司

補正予算

#### ◆令和5年度一般会計補正予算 (全員賛成 原案可決)

6月14日の大雨により被害を受けた町道や農地などの災害復旧事業のため、1億2500万円を増額補正するもので、補正後の予算総額は、88億1900万円となりました。

- ・農地・農業用施設の災害復旧に係る経費 3000万円
- ・林業用施設災害復旧に係る経費 1400万円
- ・道路・河川の災害復旧に係る経費 4500万円
- ・観光施設の災害復旧に係る経費 300万円
- ・小学校施設の災害復旧に係る経費 100万円
- ・中学校施設の災害復旧に係る経費 1490万円

**質問** 今回の補正予算に計上されていない被災箇所の対応は。

**答弁** 今回の補正予算では、緊急性が高いものを計上した。それ以外の災害復旧費用については、9月の補正予算で対応する。

## 栃木県立馬頭高等学校の存続を求める要望書

栃木県立馬頭高等学校は、昭和21年4月に栃木県立馬頭農学校として開校し、昭和24年に栃木県立馬頭高等学校（以下「馬頭高校」という。）に名称が改称され、昭和35年には家庭科（後の家政科）、昭和38年に普通科の生徒募集が開始され、昭和47年4月に水産科が設置されるなど、特色ある学校として発展してきました。

現在、馬頭高校は、普通科と全国唯一の内陸における水産科の2科からなり、令和4年度末までに12,662人の卒業生を輩出し、本地域の産業の要となり地域に大きく貢献する人材の育成に大きく寄与しています。

一方で、全国的な少子化による生徒数の減少により、本県においては平成30年度から令和4年度を計画期間とする第二期県立高校再編計画に基づき、学校統合や特例校の認定、単位制の導入など、地域の実情に合わせた高等学校の再編が進められ、馬頭高校は、平成30年度に県周辺部における小規模特例校として3学級特例校に、また、多様な学びに重点を置く単位制の高校として認定を受けました。

このような中、馬頭高校においては、平成30年度に学校と地域が一体となって学校運営について協議していく「学校運営協議会制度」を導入し、コミュニティ・スクールとして地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進し、那珂川町と包括連携協定を締結しました。また、地域と連携した取り組みとして開講した「那珂川学」は、地域の教育資源を活用した体験や交流を通して、地域の多様な課題の解決策を提案するなど、自らの将来を考え、郷土愛を育む絶好の学びの機会となっています。

特に近年では、休耕田を利用した「ほんもろこ」の養殖、「ウナギ」のふ化、チョウザメを養殖し「キャビア」を生産するなど、多くの研究成果を上げています。また、「農業と環境」の授業では、野菜の栽培・収穫を行っており、町内小中学校の学校給食への提供や、町内認定こども園の園児と西洋野菜の収穫体験を通して交流を行うなど、地域振興の重要な担い手として地域の活力の原動力になっています。

こうした特色ある馬頭高校を支援するため、那珂川町では生徒への通学費補助や下宿のあっせんなどの支援を行っています。町議会としても、令和3年度より「高校生との意見交換会」として馬頭高校生との意見交換の場を設け、高校生の活力ある意見を町政や議会活動に反映できるよう継続して取り組んでおります。

しかしながら、急激な人口減少、少子化により、馬頭高校は定員割れの状態が続き、存続が危ぶまれる状況となっていることに、議会として大変危惧しているところです。

馬頭高校は、那珂川町の地域活性化において欠くことのできない拠点であり、人口減少が喫緊の課題である当町において、地域振興を支える人材の育成に不可欠な存在であります。

栃木県教育委員会におかれましては、当地域における現状や、馬頭高校の唯一無二の特色を深くご理解いただき、次期県立高校再編計画においても再編や統合することのないよう、馬頭高校の存続を強く要望いたします。

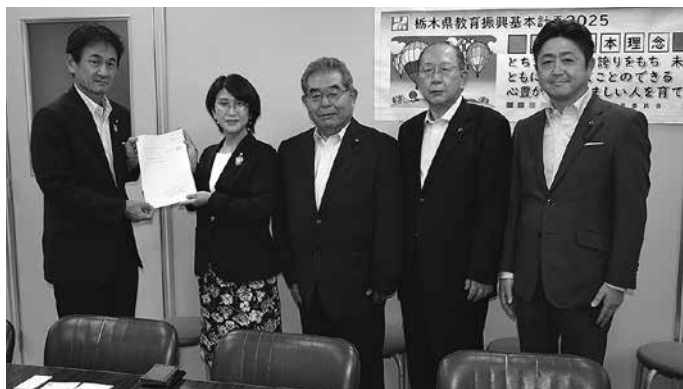
令和5年6月22日

栃木県教育委員会教育長 阿久澤 真理 殿

栃木県那珂川町議会

## 馬頭高校の存続を 求める要望書を提出

6月22日の臨時会終了後に、益子純恵議長、小川正典副議長、大金清議員（議会運営委員長）の3名が議会を代表して、栃木県教育委員会を訪問し、阿久澤教育長へ「栃木県立馬頭高等学校の存続を求めめる要望書」を提出しました。要望書の提出では、馬頭高校の魅力をはじめ、那珂川町にとつて欠かすことのできない学校であることを阿久澤教育長にお伝えし、馬頭高校の存続を強く要望してまいりました。



阿久澤教育長(左)に要望書を提出する益子議長

### 第2回定例会議案採決(6月8日)の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	神場	矢後	高野	福田	大金	川俣	小川	鈴木	益子	大金	川上	小川
			圭司	紀夫	泉	浩二	清	義雅	正典	繁	明美	市美	要一	洋一
承認第1号	那珂川町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	令和5年度那珂川町一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町税条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和5年度那珂川町一般会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	財産の取得について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	第1期那珂川町ケーブルテレビ施設光化整備事業(整備工事)請負契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第6号	馬頭中学校校舎改修工事(B棟)第Ⅱ期請負契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組規約の変更について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	佐野地区衛生施設組合が栃木県市町村総合事務組合から脱退することに伴う財産処分について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※益子純恵議長は採決に加わりません。

### 第3回臨時会議案採決(6月22日)の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	神場	矢後	高野	福田	大金	川俣	小川	鈴木	益子	大金	川上	小川
			圭司	紀夫	泉	浩二	清	義雅	正典	繁	明美	市美	要一	洋一
発議第1号	栃木県立馬頭高等学校の存続を求めめる要望書の提出について	議員提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	令和5年度那珂川町一般会計補正予算(第3号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※益子純恵議長は採決に加わりません。

# 一般質問！ 大金 清 議員

- Q 町道一渡戸大鳥線改良整備について
- Q 対話型AI(人工知能)の導入について
- Q 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応について

## 町道一渡戸大鳥線改良整備状況は

(町長) 町道古館田町線との交差点や

道路法線等を含め関係機関と協議中



大金 清 議員

**答弁** 国道293号との交差点も含め、関係機関と協議した上で、今後の改良計画を検討していきたい。

**質問** 本路線と293号交差点の交通事故件数は。

**答弁** 10年間で人身事故2件、物損事故12件、合計14件。

**質問** 今年度、改良整備工事が実施できなかった理由は。

**答弁** 交差点協議の結果、道路法線や工法等の検討が必要になり、今年度は、工事を一時休止とし、交差点協議を改めて再開したい。

**質問** 関係機関との交差点協議をこれまで何回実施したか。

**答弁** 昨年までに関係機関と3回交差点協議を実施した。

**質問** 未整備の1.6km道路整備計画を早急に計画すべきでは。

**答弁** 今後の整備計画は、交差点協議の結果を踏まえて検討したい。

**質問** 町における町道一渡戸大鳥線の位置付けは。

**答弁** 本路線は一級町道に認定しており、災害時には緊急輸送道路として支援物資の輸送や災害復旧などの役割を担う道路であり、防災の観点からも重要な路線である。

## 対話型AI(人工知能)導入

**質問** 対話型AI(人工知能)を活用するための職員の研修は。

**答弁** 職員全体の意識向上を図るため、研修会を予定している。

**質問** 対話型AI(人工知能)を活用している近隣市町の状況は。

**答弁** 那須塩原市、栃木市、鹿沼市、小山市が導入や試験運用を開始。県では9月から導入を決定した。

**質問** 町の業務や教育委員会の業務に対話型AI(人工知能)を先駆けて導入する考えは。

**答弁** 民間企業などで活用が始まっているが、法令違反や個人情報漏えい、偽情報等の拡散に悪用されることも指摘されているため、

慎重に対応したい。

**質問** DX推進計画策定は、努力義務になっているが町の現状は。

**答弁** 町の第3次総合振興計画に合わせて策定を考えている。

## コロナ感染症の5類移行の対応

**質問** 5類移行後の感染が疑われる患者の町内医療機関での受入は。

**答弁** かかりつけ医に事前に電話連絡してから受診して頂きたい。

**質問** 認定こども園や小中学校でコロナに感染した場合の対応は。

**答弁** 感染後、登園、登校するまでの期間は、発症日から5日を経過し、かつ症状が軽快した1日を経過する期間としている。

**質問** 第9波に向けた町の対応は。

**答弁** 情報周知のため、チラシを全戸配布するとともに、5月17日より集団接種を開始した。今後は、国や県の方針に沿って、町医師会と連携し、引き続き必要な対応をしていく。

## 町道一渡戸大鳥線改良整備

**質問** 道路整備の進捗状況は。

**答弁** 約0.9kmが整備完了、計画区間進捗率は、約82%。

**質問** 今年度の工事内容は。

**答弁** 舗装修繕や区画線の引き直し等の修繕工事を予定している。

**質問** 起点から町道古館田町線との交差点までの改良整備計画は。

# 一般質問！ 鈴木 繁 議員

- Q 有害鳥獣駆除について
- Q イノシシ肉加工施設運営について

## イノシシ肉加工施設の存続は

(町長) 八溝圏内のイノシシが入らなくても

施設の閉鎖は考えていない



鈴木 繁 議員

## イノシシ肉加工施設

**質問** イノシシ肉加工施設の位置づけは。

**答弁** イノシシ肉加工施設は、イノシシ捕獲による農作物被害の軽減と、イノシシ肉を地域資源として特産品化することで、町への人の流れの創出と地域の活性化を図ることを目的として設置した。

**質問** イノシシ肉加工施設の今後の運営について町の考えは。

**答弁** 八溝圏内のイノシシが入らないからといって、施設を閉鎖することは、一切考えていない。来る再開の時には町のブランド品として宣伝できる日を楽しみに存続を図っていく。

染の有無に関わらず加工販売ができない状態である。

## 有害鳥獣駆除

**質問** 有害鳥獣の捕獲状況は。

**答弁** イノシシの捕獲数は、令和元年度は467頭、令和2年度は425頭、令和3年度は188頭、令和4年度は212頭で令和元年度をピークに減少傾向にある。

**質問** 狩猟を旨とする方が増えるように猟銃の購入補助制度を導入する考えはあるか。

**答弁** 今後、猟銃の新規購入者に対して、他市町の状況も見ながら前向きに検討していく。

**質問** イノシシを捕獲するためのくくり罠の普及と技術の向上は。

**答弁** くくり罠の研修会や猪の生態や豚熱に関する研修会を実施。

**質問** 狩猟者の高齢化により人材が不足し後継者の育成が急務と考えるが町の考えは。

**答弁** 狩猟者の後継者育成は急務であり、町として支援策の更なる充実と若い世代への働きかけをしていく。

**質問** 令和3年9月からイノシシの受け入れが中止になっているが、県から町に対して受入れ再開の条件は出されているか。

**答弁** 再開の条件は、定められていない。県は、当面の間、サーベランスを継続し、感染状況を確認している状況である。

**質問** 捕獲したイノシシが豚熱検査で陰性と判明した場合、加工して販売することはできないのか。

**答弁** 国からの通達により豚熱に感染した野生のイノシシの搬入停止が要請されている。現在、八溝地域で捕獲されたイノシシは、感



イノシシ肉加工施設での作業の様子



# 一般質問！ 神場圭司 議員

- Q 幼児期の発達段階における運動の重要性について
- Q 町道小口長峰線の改良整備について

日本サッカー協会（JFA）が取り組む無料の巡回指導事業を取り入れられないか  
 （町長）サッカーに限らずどのような運動が取り入れられるか今後こども園と調整する



神場圭司 議員

**質問** 町認定こども園で実施している運動プログラムの内容は。

**答弁** 毎月1回、栃木県スポーツ協会のジュニアスポーツ指導員を講師として実施しており、運動発達チェックリストにより子どもたちの状態を確認して年齢ごとに目標を設定し、講師からその目標に向けた効果的な運動遊びに関する助言を保育教諭へ行い、保育に取り入れている。

**質問** 運動プログラムによる子どもたちの運動量は十分か。

**答弁** 運動プログラムは保育教諭の知識、技術の習得や運動意欲向上が目的であり、運動量の過不足は把握していない。しかし、年齢に合った適切な運動は健全な心身の発達に必要であり、子どもたちにより多くの運動する機会を与えるられるよう検討する。

## 町道小口長峰線の改良整備について

**質問** 測量は平成29年に実施されており、5年以上経過しているが、町道小口長峰線の改良整備の進捗状況は。

**答弁** 平成29年度から令和元年度にかけて測量及び設計を実施した。令和2年度からは用地取得に着手したが、今年度についても、引き続き用地取得を予定している。なお、整備完了までには、工事着手からおおむね10年程度かかる見込み。

**質問** 地元行政区からの要望事項でもあり、県営最終処分場に関連した町地域振興計画に位置づけていることから、優先して進めるべきと考えるが町の考えは。

**答弁** 本路線については、令和4年2月に策定した第2次那珂川町地域振興計画の町道改良舗装事業における整備が位置づけられており、用地取得の進捗状況により、計画的に着手していく。

## 幼児期の発達段階における運動の重要性について

**質問** 町認定こども園において、子どもたちは普段どんな遊びをしているのか。

**答弁** 0歳児から年長児まで園庭や室内で遊んでおり、園庭では遊具やボール遊び、砂場で遊んでいる。また、室内では、積み木などのおもちゃや、功技台などで体を動かして遊んでいる。

**質問** 町認定こども園で実施している運動プログラムの効果は。

**答弁** 保育教諭は子どもたちの現状に合った適切な指導方法のアドバイスを受けることができ、自信を持って日々の保育に臨むことができている。また、子どもたちは、体を動かすことの楽しさを感じ、運動に積極的な姿勢がみられ、プログラムを実施していく中でも、前月の反省点が翌月には達成できているなどの成長が見られる。

**質問** 日本サッカー協会（JFA）が取り組む幼児を対象とした無料の巡回指導事業を取り入れるべきと考えるが、町の考えは。

**答弁** 受け入れのためには、各園の年間行事の調整や受け入れ準備が必要となるため、各園と協議していく。子どもたちの運動の機会を増やしていくことは重要であり、サッカーに限らずどのような運動が取り入れられるか、今後各園と調整をしていく。

# 一般質問！ 益子明美 議員

- Q 若い世代の視点に立った『住めばみやこ』プロジェクト推進について
- Q 未利用公共施設等利活用基本方針の推進について
- Q 地域を担う多様な人材の確保について

若い世代にとつての住めばみやこプロジェクトになるべく話し合いを  
 (町長) 若い世代との話し合いは必要と考えどの様な機会が持てるか検討する



益子明美 議員

**質問** 若い世代にとつての住めばみやことなっていないと若い町民の意見が伝わってきている。若い世代との話し合いの機会をどのように設けているか。

**答弁** 過去にそのような機会を設けてこなかったが、どのような機会を設けたら良いか検討していく。

若い世代の意見を政策に

**質問** 『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の住めばみやこプロジェクトにおいて、若い人たちが町に住み続けるために、町としてどのような施策が必要と考えているか。

**答弁** 若い世代への施策としては、『結婚・出産・子育て』推進プロジェクトに位置付けている。

**質問** 親との同居を選択するといふ気持ちを尊重し、町として助成をすることはできないか。

**答弁** 助成の目的や基準、公平性を明確に定めることが困難と思われるため、現時点においては助成を行う計画は考えていない。

未利用公共施設等を最大限に効果発揮するために民間活用推進を

**質問** 未利用公共施設等で利活用の見込みがないものはどのような対応がされているか。

**答弁** 令和元年8月に策定した利活用基本方針に基づき、活用できるものは最大限有効活用し、利活用を推進するとしている。

**質問** 馬頭地区の下水処理施設の空き地に関して普通財産移行への手続きを早急に進めるべきでは。

**答弁** 下水道法事業認可に係る計画期間が令和7年度までであり、7年度に事業計画を見直す予定で早急なる普通財産への移行は難しい。

**質問** 未利用地で宅地のものは広く町民の住宅建築や民間活用できるように進めるべきでは。

**答弁** 今年度全ての公共施設の在り方を庁内の調整担当会議で検討を進めて行く予定であり、未利用

地の利活用について方向性を検討していく。

地域を担う多様な人材の確保について様々な施策を

**質問** 集落の課題を点検、実情にあった集落の維持・活性化に努める総務省の集落支援員制度を活用し、集落支援員を配置すべきでは。

**答弁** 現時点では集落支援員の配置計画はないが、町民からのニーズや集落対策の必要性が生じた際には既存の行政区の役割との調整を行い配置の必要性を検討する。

**質問** 農林業や商工業等の地域産業の担い手を確保するため、また移住を希望する人への就業の機会提供のため、総務省の特定地域づくり事業協同組合制度を活用し、マルチワーカーの確保に努めるべきと考えるが、町の考えは。

**答弁** 町としても地域の新たな担い手確保の施策として関心を寄せている。制度の活用に関しては、町内業者の望んでいる担い手の姿やマルチワーカーの確保の見通しなどを把握し、今後の調査研究において実現性を検討していく。

# 一般質問！ 川俣義雅 議員

Q 町の就学援助制度について  
Q 「ふるさと納税」の返礼品について

## 就学援助の基準、申請方法、

## 援助項目の改善を

(教育長) 指摘を真摯に受け止め、改善を検討する



川俣義雅 議員

### 就学援助制度の改善を

**質問** 憲法第26条、学校教育法第19条を受け、就学援助制度があるが、自治体による差が大きい。当町ではもっと充実するべきではないか。就学援助の対象になる基準は。

**答弁** 生活保護世帯と、所得がそれに準じる世帯。

**質問** 宇都宮市などは生活保護世帯の1.33倍の世帯まで対象にしている。全国的にもその基準が多い。

認定基準を緩めるべきではないか。

**答弁** 県内の市町で1.1倍以上が22市町、1倍は当町を含めて3市町。対象基準について検討したい。

**質問** 町の基準は厳しい。子育て支援の町としてはとんでもないことではないか。教育長の考えは。

**答弁** 今後の課題として早急に対応したい。

**質問** 就学援助制度のお知らせは全保護者に配布されているが、希望者が学校に申請書を提出するのは困難。東京世田谷区では、保護者全員が希望する、希望しないに丸をつけ、封をして学校に提出して、援助を受ける世帯が増したという。いい方法だと思わないか。

**答弁** 確認作業などの事務負担が大幅に増加する。やり方を変える考えはない。

事務負担が増えるからやらないではなく、住民の福祉向上を第一に考えるのが役場の仕事。世田谷の方法は、希望者がためらわずに申請できる優れた方法だと思うが、町長の考えは。

**答弁** そういうお考えの方があると認識させていただく。

**質問** 町長の考えは違うと言っている。非常に残念。就学援助の基準、申請方法、援助項目の見直しについて前向きに取り組む考えは。

**答弁** 指摘を真摯に受け止め、改善を検討したい。

### ふるさと納税の返礼品改めるべき

**質問** ふるさと納税制度は、税収が落ち込む地方を、都会などに住む人からの納税で収入を増やそうと始まったが、今は返礼品目当てで盛んに行われている。ふるさと納税をすればほしい返礼品が手に入るだけでなく、住んでいる自治体へ納める税が控除になり、本来、住民サービスへの対価としての税の在り方から外れてしまっている。ふるさと納税の趣

旨をどうとらえているか。

**答弁** 問題ないと認識している。

**質問** ふるさと納税をする際の自治体選択の一番のきっかけは。

**答弁** 返礼品、商品だと思う。

**質問** ふるさと納税は返礼品競争になっているのではないか。

**答弁** 特色ある商品開発は地域活性化にもつながる。

**質問** 本来どこかの自治体に入るべき税金の4割から5割が返礼品に使われている。税金が減っていると思うが。

**答弁** そういう見解もできる制度。

**質問** 返礼品のためのふるさと納税は異常な事態だと思わないか。

**答弁** 過度な取り扱いをしている市町村もあると認識している。

**質問** 返礼品は送らず、ふるさと納税の使いみちを知らせてお礼にすることはできないか。

**答弁** 町の事業に対して寄付をいただくことや、返礼品を送らないことも検討したいと考える。

## 常任委員会 所管事務調査

町の事務事業を調査しました

◆総務産業（6月26日）

◆教育民生（6月27日）

### 総務産業常任委員会

①分譲宅地整備事業では、分譲宅地整備の候補地となっている農業構造改選センターの敷地（小川地内）の現況を調査しました。

②サテライトオフィス事業では、令和4年度から運用が開始されたサテライトオフィスの整備状況と運営状況について調査をしました。

【意見書】 事業の周知に力を入れるとともに、令和5年度の実績を踏まえて見直しを図りたい。



サテライトオフィスを現地調査

③イノシシ肉加工事業では、イノシシ肉加工施設の管理運営の状況と、イノシシ肉の加工作業等について現地調査をしました。

【意見書】 豚熱の規制解除に関し、県に対するガイドライン策定の要望など、引き続き、県と必要な協議を重ねること。

④公園の管理運営事業では、馬頭公園の現状や、老朽化による施設設備の更新など今後の維持管理の方針などを現地調査しました。



イノシシ肉加工施設を現地調査



馬頭公園を現地調査

【意見書】 公園の再整備にあたっては、インクルーシブな視点を持って早急に進められたい。

⑤食と農の拠点整備事業では、令和4年度に策定された基本計画の内容等について机上調査をしました。

【意見書】 当初の事業スケジュールにとらわれることなく、町の農業振興につながるよう、事業の抜本的な見直しも含め、推進協議会等と協議を重ねた上で慎重に進められたい。



食と農の拠点整備事業を調査

⑥町営・町有住宅の管理運営事業では、住宅の管理運営の現状について、机上調査をしました。

## 教育民生常任委員会

①公共交通確保対策事業では、令和4年度に策定した、地域公共交通計画の運用等について机上調査をしました。

【意見書】 コミュニティバスにおける、JA那須南本店を中心とした停留所の拡充と周知を図ること。



地域公共交通計画を調査

②認定こども園管理運営事業では、令和4年度に設置した複合遊具の設置状況と園児たちの活動状況を現地調査しました。

③地域づくり推進事業では、高齢者生産活動施設を利用して行われている居場所づくり事業の実施状況を現地調査しました。

【意見書】 居場所づくり事業の利用者増に向けて、地域力強化推進委員をはじめとした人材の確保と適正な人員配置に努められたい。



居場所づくり事業を現地調査

④生ごみ堆肥化事業では、富山地内にある生ごみ堆肥化の状況を現地調査しました。

【意見書】 生ごみの出し方を含めた分別収集の周知徹底を図るとともに、事業の費用対効果についても検証をされたい。



生ごみ堆肥化施設を現地調査

⑤馬頭中学校校舎改修工事では、令和4年度に施工した、B棟第1期の改修工事の状況について、現地調査しました。

⑥屋内水泳場管理運営事業では、ウェルフルなかがわの経営状況や施設の現状について、現地調査しました。

【意見書】 トレーニング機器については、利用者の安全面を最大限に考慮した内容にすること。また、認定こども園の園児に関しては、わかあゆ認定こども園の利用にとどまっていることから、利用格差が生じないように配慮すること。



ウェルフルなかがわを現地調査

## 《常任委員会の経過》

### 総務産業常任委員会

開催日 6月6日

所管事務調査先の検討や行政視察の検討、所管課長との意見交換を行いました。

開催日 6月26日

所管事務調査を実施しました。

### 教育民生常任委員会

開催日 6月7日

所管事務調査先の検討や行政視察の検討、所管課長との意見交換を行いました。

開催日 6月27日

所管事務調査を実施しました。

## 《特別委員会の経過》

### 議会改革特別委員会

開催日 5月16日

第1小委員会を開催し、議会基本条例の検証方法と今後の進め方などを協議しました。

開催日 5月17日

第2小委員会を開催し、調査研究のため、前期議会改革の経過の確認及び県内町議会の議員定数や議員報酬等の状況などを確認しました。

開催日 6月8日

議会改革特別委員会を開催し、第1小委員会並びに第2小委員会における取組状況などの進捗状況を確認しました。

開催日 6月14日

第1小委員会を開催し、議会基本条例の検証作業を行いました。

開催日 6月15日

第2小委員会を開催し、議員報酬及び政務活動費に係る調査研究について協議しました。

開催日 7月11日

第1小委員会を開催し、議会基本条例の検証作業を行いました。

## 議会広報特別委員会

開催日 6月22日、7月18日、

8月1日

議会だより第72号（8月10日発行）のため、委員会を3回開催し、

議会だよりの編集を行いました。

また、議会広報モニターさんから出された議会だよりに対する意見や感想等について、内容を確認し、返答内容などの協議を行いました。



議会広報特別委員会の様子

益子明美議員の一般質問に対する答弁が途切れていました。あの文章のあとに続く文言は「(要望して) いく」だったのでしょうか。

委員会より…

ご指摘ありがとうございます。校正時に見落とししました。要望していくというのが正しい表現です。

表紙写真（桜の下で笑顔満開！）良いタイミングをとらえて目に付き好感が持てます。

議会だよりの表紙インパクトは、相変わらず素晴らしいと思います。女の子の無邪気なブランコ乗りが那珂川町の平和な日々を物語っているようです。

議会広報モニターからの  
ご意見ご感想を紹介します

表紙の「馬頭公園の桜と子ども」やキラリまちおこしの中学生力士等、地域の若者が輝いている様子を取り上げるのは、とてもいいなと思いました。

限りあるスペースの中でのレイアウトなので仕方ないのかもしれないが、P3、P7の採決状況の表の文字が見づらいと感じる。

委員会より…

字体を変えてみることも考えたいと思います。

季節に合わせて…ということでしょうか。緑色のタイトルや文字がさわやかです。心なしか、オレンジ色やピンクより読みやすい気がします。

委員会より…

“季節に合う色”と考え、5月号は緑、8月号は青、11月号はオレンジ、2月号はピンクとしています。

### 謹告

公職選挙法の趣旨を踏まえ、申し合わせにより初盆のご挨拶は自粛いたします。

那珂川町議会

第1回定例会議案採決（3月6日・15日）の状況を確認すると1名の議員欠席が目立ちますが、如何なる理由（病欠・冠婚葬祭）で欠席か備考欄に付記してほしい。例えば会社の管理職であれば重要な会議に出席することは職責を果たす事は当然です。

委員会より…

本議会への欠席は会議規則に則り許可されていますが、理由に関しては個人情報保護の観点から難しいと判断します。3月定例会では、議案第1号から21号までの採決が3月6日にあったため、その日だけ欠席した議員に「欠」が多く付いてしまいました。

## 議会のうごき&内容

令和5年

5月

30日 議会運営委員会（6月定例会）  
29日 議会全員協議会  
17日 議会改革特別委員会第2小委員会  
16日 議会改革特別委員会第1小委員会  
10日 議会だより第71号発行

6月

6日 令和5年第2回議会定例会（一般質問）  
6日 総務産業常任委員会（所管事務調査検討 外）  
7日 令和5年第2回議会定例会（一般質問）  
7日 教育民生常任委員会（所管事務調査検討 外）  
8日 令和5年第2回議会定例会（議案審議）

議会全員協議会

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会第1小委員会

議会改革特別委員会第2小委員会

議会全員協議会

議会運営委員会（6月臨時会召集）

令和5年第3回議会臨時会

議会広報特別委員会（第16回、第72号発行）

総務産業常任委員会（所管事務調査）

教育民生常任委員会（所管事務調査）

議会改革特別委員会第1小委員会

議会広報特別委員会（第17回、第72号発行）

7月

11日 議会改革特別委員会第1小委員会  
18日 議会広報特別委員会（第17回、第72号発行）

8月

1日 議会広報特別委員会（第18回、第72号発行）  
10日 議会だより第72号発行



## いっぽいっぽの会

(会長)

益子 和枝さん  
(谷川)



なかちやんが  
聞きました。

**Q** いっぽいっぽの会ってどんな会なの？  
**A** 馬頭高校の通級による指導の導入を実現するために同じ思いを持つ皆さんで作った会だよ。  
**Q** 通級による指導って高校でどんな指導をすることなの？  
**A** いわゆる「障害」の有無に関わらず困り感を抱えた生徒一人ひとりのニーズに応じた適切な支援ができるように設けられる教育の場だよ。  
**Q** 今までは通級による指導はなかったの？  
**A** 国は2018年度から通級による指導を推進しているよ。栃木県では2019年より研究実践

校において通級指導を実施してきたけど、県立高校全体にはなかなか広まらず、この会の働きかけもあって今年度から馬頭高校への導入が決まったんだ。  
**Q** これまでにどんな働きかけをしてきたの？  
**A** 長年にわたり通級指導の実現を栃木県知事との懇談会の場で直接お願いしたこともあったよ。このように数年に渡って折あるごとに働きかけを行って、県議会に請願を提出して採択されたのが昨年9月30日だよ。  
**Q** 馬頭高校のPTA会長も務められていると伺ったけど、PTA会長の立場では学校にどのような通級指導を望んでいるの？  
**A** 学校側と私達PTAが常に意見交換しながら、生徒が困り感を主体的に克服するための適切な通級指導がなされるよう望んでいるよ。  
**Q** 馬頭高校通級制度導入の実現の件で、5月30日に下野新聞の取材を受けたことでこれから通級指導が世に広く周知されると思うけど、これから

「いっぽいっぽの会」はどのような活動をしているの？  
**A** インクルーシブ教育とは、もし一人でも困り感を抱えている生徒がいればクラスの他の生徒全員が理解し支えあうこと。そのために教育現場での専門性は当然必要だけど、全ての教師が支援に取り組む必要性が言われているよ。乗り越えるべき問題があれば、学校側と協議しながら一人ひとりのニーズに応じた教育がなされるよう活動していきたいと思っていますよ。



いっぽいっぽの会の様子

通級による指導の取り組みには、大変な働きかけがあったんだね。いっぽいっぽの会の活動をこれからも応援します。



いっぽいっぽの会

## 議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも傍聴してみませんか。

次の定例会は、**9月5日開会**  
(令和5年第4回議会定例会)の予定です。  
議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

第2回6月定例会の 議会傍聴者数	6日 3人	7日 22人	8日 1人
第3回6月臨時会の 議会傍聴者数	22日 2人		

### ●表紙写真

**馬頭高校水産科カヌー実習**  
初夏の那珂川。30年以上続く馬頭高校水産科の伝統行事であるカヌー実習です。

これから始まるカヌーでの12kmに及ぶ舟旅に期待と緊張。仲間同士で集まる出発前のひとコマです。

## 編集後記

私が東京から戻ってきた15年前、野菜作りなどの趣味が生活の中心で、議会にあまり関心を持ちませんでした。それを思い返すと、議会だよりをお読みいただいたる皆さんに感謝です。議会公報モニターさんから「議会を見ているとその質問に対しての熱意が感じられない。年配の方々からは『なんだか中学生の議会を見てるようだ』との指摘もある」との感想が寄せられました。もちろん、中学生が討論したらずつつと真剣だと思いますが、その真剣さが感じられないとの意見だと受け止めました。町長も町議も「みなさんの役に立ちたい」という初心を忘れずに、職員の間にも「あくまでも町民のために」という思いで議会に臨んでいこうと思います。熱意が感じられないとの指摘は、「そういう思いの人も中にはいるだろう」と他人事としてとらえるのではなく、真剣に振り返るべき重い課題だと考えます。「町政の主人公は町民」の自覚がまだまだ足りないのではないかと考えさせられました。

議員長 川俣 義雅

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

